

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

12
No. 215
Dec. 2015



特集:「調子はえ~んじゃフェスティバル2015! 開催」
~つなぐ つながる こころ ありのままの自分で~
皆でつながろう! 誰もが住みやすい街を目指して…

調子はえーんじゃフェスティバル 2015



～つなぐ つながる こころ

ありのままの自分で～

11月15日(日)に旧内山下小学校で開催された「調子はえーんじゃフェスティバル 2015」。当日は700名あまりの来場者で賑わった。フィナーレではoyuuさんのライブに加え、会場皆さん、ボランティア、実行委員全員で未来への希望を胸に紙飛行機を飛ばした。今月号は先月号に引き続き、このフェスティバルの特集を行いたい。



フェスティバルを終えて…調子はえーんじゃフェスティバル実行委員長より

一月一五日（日）に、旧内山下小学校で開催した『調子はえーんじゃフェスティバル2015』は、皆様のお蔭で参加者六九八名と盛大に終えることができました。多くのご参加、「協力 誠にありがとうございました。校舎では今大会のテーマ「つなぐつながる 心 ありのままの自分で」をイメージした作品展示、真庭のスカイハート灯さんのワークショップ、各事業所による販売、交流スペース、自主製作映画「ありがとう愛(こころ)を伝える映画」の上映、路上詩人M・おくらさんの出店がありました。

メインステージの体育館では、オーナーニングに俄嘉屋さんのうらじや踊りで盛大に始まり、舞台イベントではバンド演奏、ピアノ演奏、ダンスと個性豊かな演出に続き、午後からは、ベニシア・スタンリー・スマスさんの特別講演会、シンポジウム、フィナーレでは、自主製作映画「ありがとう愛(こころ)を伝える映画」の主題歌を歌つて下さっているoyuuさんのライブ、そして全員で紙飛行機を飛ばして閉会となりました。

私としては、オープニングに皆でうらじや音頭で輪になつたこと、約束のことです。

ベニシア・スタンリー・スマスさん 特別講演会を聞いて

NHK「ベニシアの手づくり暮らし」猫のしつぽ「カエルの手」で有名なベニシアさんをお呼びすることが出来、感無量です。ベニシアさんの娘さんが統合失調症だと知ったのは、前回の調子はえーんじゃフェスティバル

「ありがとう」が無事上映されたこと、ずっと企画にあがつていた交流スペースが実現したことが印象に残っています。今回、当事者の力を本当に感じました。そして、大変忙しい中、岡山市長が挨拶に来て下さったことが嬉しかったです。昨年の七月から準備を始め、実行委員、ボランティアさんの協力のもと無事盛会で幕を閉じるときには、思わず泣きそうになりました。

参加してくださった方々から、「とても楽しかった」「次回も楽しみにしています。」などと嬉しい言葉を頂くことができ、本当に感謝しています。岡山の地より皆が住みよい未来を願つて「調子はえーんじゃー」ありがとうございました！

ピアサポートー仲間であるスピーカー・ビューロー岡山のメンバーからのつながりで、東京で開催されたアンチステイグマ分科会国際会議に、ベニシアさんが講演されたことを知りました。NHKのベニシアさんのイメージで、勝手に理想の生活を送られていると思い込んでいた私にとって、その事実は衝撃でした。調べると、以前、岡山に住まっていたとのこと。ぜひ次の調子はえんじやフェスティバルに講演に来てほしいと強く思い、皆の同意を得て、実現の運びとなりました。

実際にお会いするベニシアさんは、とてもフレンドリーで気さくな方でした。実はベニシアさんはこのフェスティバルの前、家族間で大変な時だったそうですが、講演では、歌手を目指していたベニシアさんも、歌われた歌詞を一緒に歌うことで、心地よい感覚を得て、実現の運びとなりました。



精神保健福祉シンポジウム「私色の元気の紙飛行機を飛ばそう！みんなから集まった「こんなことをしたら調子がええこと！」」



精神保健福祉シンポジウムでは「こんなことをしたら調子がええこと」をシンポジスト5名と会場の皆様から、事前公募の中から紹介し共有を行いました。発表者ひとりひとりの思いがキラリと光り、会場全体が一体となって元気がもらえる会となりました。そして体育館にて集めた皆さまからの「こんなことをしたら調子がええこと」を載せた紙飛行機の内容を紹介したいと思います！

空をぼんやり見上げる・RUN走る・人、がんばれ・大自然ありがとう・よく食べ、よく寝る・猫のしっぽカエルの手をみると・海に出て、潮風をあびる事・風に触れること・歌を歌う・今日は楽しかった・遊ぶこと・編み物や物づくりが完成した時・みんなで笑顔・美味しいものを食べる・愉快な仲間達とのたんぽぽ樂団とバドミントン・50センチのチヌをつる・ゆっくり過ごす・本、音楽、編み物、散歩・H27年度精神卓球大会優勝・エネルギーをありがとう・今できることだけをやる・平和は私の心の中に・笑顔・おしゃべり・笑顔でいられますように・本を読むのが楽しいです・天国言葉、愛してます、楽しい、嬉しい、感謝しています、ついている、ありがとうございます・GO! GO! GO! やり通すことが大事・お酒、話し相手・相談を聴いてくれる人がいる・空をみること・ゆっくりいこう・友達と話してる時・釣りと山登りとビール・笑顔つながり・たくさん泣いて、たくさん笑って、たくさん歌うこと♪・植物、家族の笑顔・優しさを忘れず・笑い飛ばす・青空を見る（次号に続く）

当事者交流スペース

同じような生き辛さを持つた人同士が、調フエスといふイベントの場を中心に行交流する「当事者交流スペース」を初企画!

■交流スペースができるきっかけ

■そこはどんな場だったのか…

開催まで、「同じような生き辛さを持つた人に尋ねてみたい事」をチラシで募集し、次の5つの応募がありました。



「この企画のきっかけは、調フエス準備への初参加からでした。色々な企画が意味のある貴重な企画と感じましたが、個人的に物足りなさを感じていたのも事実でした。それは、一つは来場者が主役となつて参加出来る企画が足りていない事。

もう一つは引きもりや「調子がえーんじやになつていい人」など福祉事業所や作業所に行けない人や馴染めない人も安心して調フエスに参加出来る仕掛けが足りていない事でした。

今回の調フエスのコンセプトは『繋ぐ、繋がる心、あらのままの自分で』です。引きもりや「調子がえーんじやになつていい人」などに安心して調フエスに参加する事で、社会の中に自分達の心の居場所が有る事に気づいて欲しい…

初めての試みであり大変難航しましたが、どんなに時間不足でも、ここでは経験豊富な支援者ではなく、当事者自らが主体的に運営していく事が必要不可欠でした。何故なら、当事者同士だからこそ安心

できる事、心を開ける事、共感・感動できる事が出来るからです。但し、調フエスにおいても『当事者交流スペース』においても、そこで言われる当事者は『障害者手帳を有する者』ではなく、『精神的な困難を抱えて生きている人』の事です。

なので、同じような生き辛さを持つた人どうしで対等に「ミニユニケーションが出来る人なら誰でも運営入札シフの資格が有りました。

企画はもちろん、開催スペースの準備・応対など、障害者手帳の有無やピアサポートの経験の有無などを「精神的な困難を抱えて生きている当事者」がそれぞれ力を尽くし、主体となつて実行されました。全作業をなした当事者は一人もなく、それが出来る事を出来る範囲で行いました。

例えば、難病を発症し車椅子移動を余儀なくされている方が難病啓発の為にパンフレットの製作・配布をする、調子を崩し当日来れない友人に代わり闘病記本を販売する、引きこもり支援センターを通じて事業所に通うようになつた方々が一方で文字おこしをし、また一方では会場づくりに力を尽くす。その他にも、支援者と何度も話し合つて意を決して当日の応対役に臨んだ方もいました。

「交流スペース」の参加者や運営スタッフの様子から、「ありのままの個性や想いを、偏見や見下す事無く受け止める事で、人は安心して繋がれる」という事を証明出来たと感じています。

この企画に関わつて頂いた全ての当事者と支援者の皆様はもちろん、全ての生き辛さを持つ方々の「個性」に感謝しています、心から有難うございました。

調フエスが終了した今後も『聞いてみたい(打ち明けてみたい)』&受け止めたよレポート』として皆さんに公開していく事を予定しています

今回のこの場で生まれた当事者の共感や活動の実績が、全ての「精神的な困難を抱えて生きている当事者」にとって、「生きていく為のさりげない安心」となりますように…

二つの問い合わせを参加の始まりに行いました。

作品展示】ー十ー

『つなぐ つながる 心～ありのままの自分で～』をテーマに当日はたくさんのアート作品で埋め尽くされました。展示は教室内にとどまらず、校舎入口の天井には、社会福祉法人岡山市手をつけなぐ育成会仲よしによる、色とりどりの糸で織られてたアート作

品の展示。



校舎入口の様子



廊下窓際の様子

などにも行われました。

とても良い雰囲気の残る製図室では、ポスター応募のため出品された絵画を始め、丁寧に作られた手芸作品や小説、4コマ漫画などが展示された。「椅子を持つてきて、読み込みたい。」「貸出等は可能か。」など、「うよううな声を聞く」といふことが出来ました。

同教室では、NPO法人灯心会による『出張美術館～あなたのモナ・リザを探せ～』という、ワークショップが行われ、個性豊

かなモナ・リザが描かれました。また、NPO法人灯心会の活動の一環で描かれた、モナ・リザも多数展示され、表情豊かな作品を真剣に見入る参加者の姿がありました。



おくさんコ・ナ-

家庭科講義室で行われた、路上詩人Mr.おくらさんによる『あなたをみてインスピレーションでオクラの筆を使って元気の出る言葉を書きます！』では、野菜のオクラの筆を使つて、とても味のある文字を書かれ

る、Mr.おくらさん」と、清田学さんとの交流を求め

て、並んで待つてい
る参加者の姿もあり、書いてもらつた
方からは「パンフレットを見て初めて
知り、書いてもらつに来ました★」「家に持ち帰り、どこに飾るか今から考えるのが楽しみです♪」等おぐらさんとの会話が弾み聞こえました。

販売】ー十ー



販売コーナーの様子



学生ボランティアさん

自主製作映画「ありがとう2～愛(こころ)を伝える映画～」上映！！



自主製作映画「ありがとう2～愛(こころ)を伝える映画～」の上映を行いました。出演者の佐伯さん、坪井さん、山本さんの舞台挨拶をはじめ、主題歌を歌ってくださいました。約一八〇人の方が映画に来場され、試行錯誤の中、作り上げた私たちの映画を観ていただきました。こうして上映ができたのは沢山のサポートナーが関わってくれたおかげです。映画の主題歌や楽曲にもボランティアの方からの提供や、岡山映画祭実行員の皆さん、地域の愛育委員さんや支えてくれた多くの皆様のおかげでこの映画が出来上がったことにこの場を借りて感謝の言葉を伝えさせてください。ありがとうございます。

「ありがとう2」が出来上がった経緯

タイトルにありますように、実はこの映画は二作目になります。

「ありがとう2」は、心の病に苦しみ、時には人に迷惑をかけてきた自分たちから「ありがとう」と伝えることで、未来につながるんじゃないかな。ありが

とうのリレーをドキュメンタリーで撮影しようというアイディアが生まれ、出演者を募集し撮影を行いました。そして、二〇一三年に開催された前回の「調子はえーんじやフェスティバル」のメインプログラムとして上映をしました。その後も各地から上映希望があり、県外でも上映を行っています。

この度、二年ぶりにフェスティバルを開催するにあたり、二作目を作成することになり、一作目の思いも引き継ぎ、今回は心の病と共に歩みながらも出会うことができた「ありがとう」をテーマに、出演者自身の語りを通して「愛(こころ)を伝えたい」そんな思いを込めて制作に臨みました。出演者の募集をかけ、どのくらい集まるのかが不安でしたが、応募により四名の出演者が決まりました。また、インタビュアー、編集、ナレーションは実行委員で行っています。出演者一人あたりの撮影も何日間に分けて撮影しています。映画は約五〇分ですが、映画作成の裏にはたくさんのドラマがありました。映画を通じ、それぞれ四人の登場人物、ひとりひとりのありがとうの形、それぞれの愛(こころ)の伝えかた。ありがとうのエピソードを味わつていただければと思いを込めながら作成していました。上映するまで、この映画を見てくださった皆さんがどのように受け止めてくれるのだろう、どんな感想を持たれるだろう…と実行委員みんなで、ドキドキ、ソワソワしたことを見ても鮮明に思い出します。

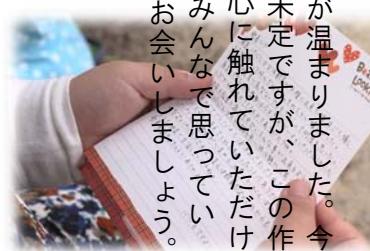
映画を見て下さった方の感想・・・

当日は見てくださった方にアンケートを取り、上映後にたくさんの方から感想をいただきました。少し紹介してください。「本人の思いが、素直に伝わりました。それを受け止める人達、両方の中にあたたかい気持ちが流れ、本当にありがとうと言い合えるその思い愛(こころ)が大事ですね。」（六〇代／福祉関係者）

「苦しい思いをしながらも支え合つてみんな生きている。私自身そうです。映画をみれてとてもよかったです。感動しました。」（四〇代／当事者）

「調子が良い時ばかりではないと思いますが、ゆっくり楽しい日々をエンジョイして生活していくください。応援します！」（六〇代／当事者家族）

感想を読んで私自身も心が温まりました。今後、ありがとう3の作成は未定ですが、この作品がたくさんの方の目に、心に触れていただければ嬉しいなと実行委員のみんなで思つていい次第です。またどこかでお会いしましょう。ありがとうございました。



面に暗幕を張らなければなりません。数人のボランティアさんが協力し、光が入らないかを確認しながら暗幕を張つていきました。スピーカーを通しての音の確認をする中で、当日の上映直前まで調整をしてくれたボランティアスタッフもいます。当日、各会場を回りながら上映の宣伝をしてくれたボランティアスタッフもいます。当日、上映に関わってくれた多くのボランティアスタッフは、映画のエンドロールに登場しない「縁の下の力持ち」です。みなさんのご協力のおかげで、上映は大成功に終わりました。

来場者の感想

- ・初めて来ましたが、とても温かい気持ちになりました。サポートの一の皆さんの温かいご支援にふれ感動しました。
- ・最後のフィナーレでスタッフの方々を含むが前に出ていらして本当にたくさんの力が集まつてできたイベントだったのだなと感動しました。これからも続けてほしいです。
- ・初めて参加しましたが映画、講演、作品、交流などを通じて皆さんの思いや状態が良くわかりました。
- ・同じ経験をしている人とお話をしたり、地域の皆さんに知つてもらうことはとても大切だと思いました。来て本当に良かったです。
- ・楽しかったです。エネルギーを感じました。

- ・みんなの表現の豊かさに心が温かくなりました。色がきれいです！幸せ頂きました。校舎の中をいろいろ見て回るので面白かったです。もっと広く市民の皆さんも参加されるかたちになるといいですね。
- ・色々な取り組みをやられていることにいつも刺激を受けています。
- ・最後のフィナーレでスタッフの皆さんを含む方々が前に出ていらして本当にたくさんの力が集まつてできたイベントだったのだなと感動しました。これからも続けてほしいです。
- ・最後のフィナーレでスタッフの皆さんを含む方々が前に出ていらして本当にたくさんの力が集まつてできたイベントだったのだなと感動しました。これからも続けてほしいです。
- ・最後のフィナーレでスタッフの皆さんを含む方々が前に出ていらして本当にたくさんの力が集まつてできたイベントだったのだなと感動しました。これからも続けてほしいです。



あすなろからも出店・展示！



出店ブースは大盛況！
お屋には満席でした！



あすなろ家族の会出店【おでん】

あすなろ家族の会では、おでんと飲み物の販売という形で調フェスに参加させて頂きました。お屋に差し掛かるころには二百食以上を売り上げ、大盛況のもと完売となりました。ご来店いただいた皆様には感謝申上げます。

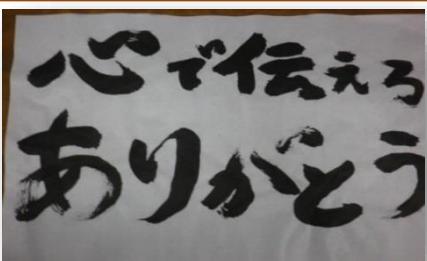
特におでんは、家族の会秘伝の味付けを前の日から施し、皆様に美味しく食べて頂きたいとの思いを込めて、作りました。買っていただいた皆様から「おいしい！」「おふくろの味がする。」「また買いました。」等うれしいお声を頂きました。

完売した後は、家族の会も調フェスのプログラムやイベントに参加し、皆様と一緒に感動のフィナーレを迎えました。

CAFEMOMO & 焼き菓子と雑貨MOMO

MOMOでは今回の調フェスで、カレーとクッキー・焼き菓子の出店で参加させていたしました。カレーはハ○食、お菓子は一五〇個すべて完売、大盛況でした。ご来店いただいた皆様には感謝申し上げます。

MOMOでは調フェスへ向けてMOMOメンバーやみんなで協力しながらお菓子作りや仕込みを頑張りました。カレーに入れる玉ねぎはなんと三〇個！玉ねぎを仕込みながら涙を流すもの続出！でした。お菓子作りではいつも二倍、三倍量の材料を計量したり、混ぜたり・・・当分クッキーはみたくなーい！といながらも笑顔で愛情を込めて焼いていました。今回の調フェスではMOMOチーム・ボランティアの皆様とも協力としても良い経験ができたと思います。またこのような機会があれば参加していくたいと思います。そして、これらもMOMOをよろしくお願ひいたします♪



ものづくりArt工房あすなろ



工房あすなろ

ものづくりArt工房あすなろは、絵画・陶芸・手芸品を出展しました。お客様が気軽に立ち寄れて、作品そのものの魅力を伝えられる場にしたい！そんな意気込みを持ってスタートしました。

今回の展示場所は教室。壁にくぎを打ちつけて壁飾りを付けたり、テーブルの上に作品を並べたり、天井から紐を垂らして絵をつるしたり・・・少しずつ教室を展示会場に変えていきました。絵は誰もが見やすい高さに合わせて壁にかけ、陶芸・手芸品は手に取ってみていただけるようにテーブルに並べました。

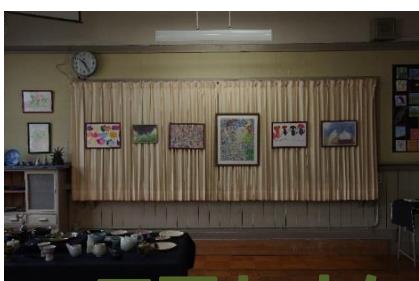
あすなろ展示班には、展示の経験が豊富な『スタッフ』という強い味方がいるのですが、展示に必要な道具がそろわざ、急きよスタッフが外出するといふハプニングが発生！どうなることかと一時はドキドキしましたが、展示班を手伝いに来て下さっていた多くのボランティアさんに助けられ無事に終わらせることができました・・・

皆さん、本当にありがとうございました！また、多くの方が調子はえーんじやフェスティバルをきっかけにメンバーさんの作品と交流し、魅力を感じてくださいましたが本当に嬉しかったです。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました！

ものづくりArt工房あすなろは、絵画・陶芸・手芸品を出展しました。お客様が気軽に立ち寄れて、作品そのものの魅力を伝えられる場にしたい！そんな意気込みを持ってスタートしました。どの方も作品を手に取ってくださり、中にはお気に入りの作品を見つけて「この作品はすごいいですね！」「購入はできないのですか？」と声をかけてくださる方もいました。

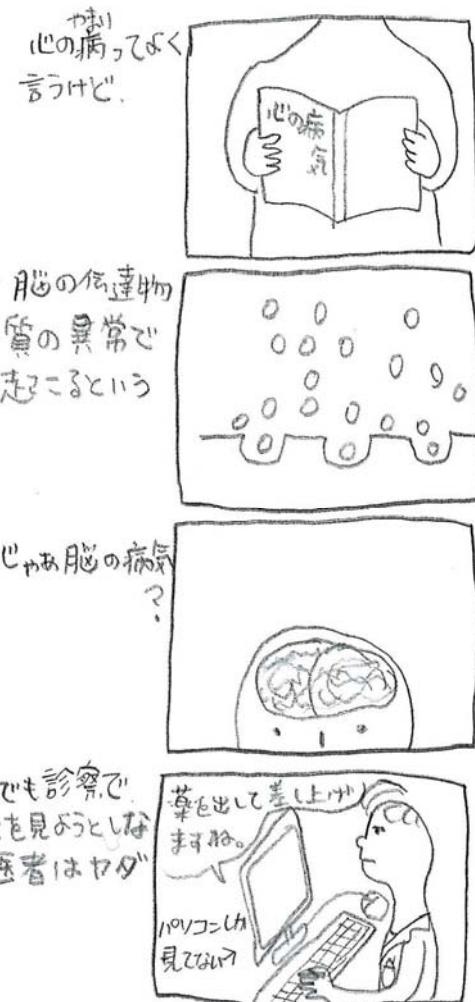
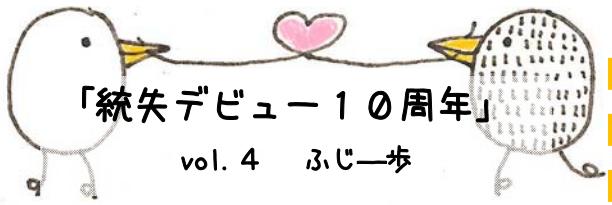
当日の展示には、あすなろ福祉会に縁のある方、初めてあすなろの作品に触れる方、ものづくりに関心のある方など、本当にたくさんの人たちが来てくださいました。どの方も作品を手に取ってくださり、中にはお気に入りの作品を見つけて「この作品はすごいいですね！」「購入はできないのですか？」と声をかけてくださる方もいました。

準備に時間がかかりた分、片付けにも時間がかかりました。「」でも大活躍したのはボランティアさんたちでした。スタッフがてんやわんやになりながら伝えたことを的確にくみ取っていただき、元通りの教室に戻すことができました。「」まで大がかりなことを成しえばられたのは、多くの方々の力がありました。一度大がかりなことを成しえばられたのは、多くの方々の力があつたことなのだと改めて感じられた2日間でした。本当に皆さん、ありがとうございました！



ものづくりArt工房あすなろ展示スペース

投稿コーナー



平成二七年一月十九日(木)、月に一度の女子会を行いました。今日のメインテーマは、「メイクの仕方」。メイクの講習会に参加したことのある方から、明日からできる簡単メイクのやり方についてみんなで学びました★また、期間限定のお菓子を食べたり、お肌の悩みについて話したりして、楽しく過ごしました。

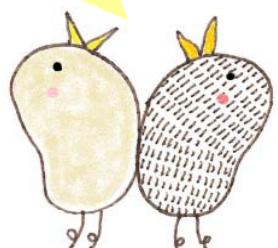
ほんたう たのしい うた うたうよ。
ほんたう あわせてね。
ほんたう きみたうの うた。
ほんたう きみたうの うた。

『作詩 ハーマイ』

最後は『インターステラー』だ。二〇一四年のアメリカ映画で、監督はクリストファー・ノーラン。主演はマシュー・マコノヒー。非常に面白くまた感動もさせてくれる映画だ。こういう映画を作るのがアメリカという国は本当に上手だ。以上三つの映画をあげた。興味のある方はごらんになって頂きたいと思う。

あと、一ヶ月でひつじ年も終わりですね～そろそろインフルエンザが流行する季節です。みなさん手洗いうがいをしよう★(^o^)

ぱるつこ広場



感想・投稿 募集中!
詩、俳句、絵、ジャンル不問です。郵便、メール fax 等でご投稿下さい♪待っています★

古楽日和 ニガクビヨウ

藤井健喜

今年も残すところ一ヶ月足らずとなつた。そこで、今年筆者が(主)にテレビで見た映画の中でよかつたものを三つあげてみたい。

最初は『大脱出』である。二〇一三年のアメリカ映画だ。監督はミカエル・ハフストローム。主演はシリヴェスター・スタローン。

この作品に関してはすでに何度も言及してきたため、ここで改めて述べる必要もないと思う。この映画は民主主義と資本主義のありかたについて問い合わせる作品であると共に、アメリカの掲げる「正義」というものに対しても疑問を投げかけている。

ふたつめは『パシフィック・リム』。二〇一三年のアメリカ映画だ。監督はギレルモ・デル・トロ。主演はチャーリー・ハナム。この映画を端的に説明すれば、怪獣映画である。地球上で暴れまくる怪獣を、巨大ロボットで倒していく。そんな映画である。日本のアニメを実写でやってしまった、といえばわかりやすいかも知れない。人間ドラマがしっかりしており、大人の鑑賞にも充分堪えうる作品となっている。

最後は『インターステラー』だ。二〇一四年のアメリカ映画で、監督はクリストファー・ノーラン。主演はマシュー・マコノヒー。非常に面白くまた感動もさせてくれる映画だ。こういう映画を作るのがアメリカという国は本当に上手だ。

岡山県精神障害者卓球大会



一月二三日（月）ジップアリーナ岡山にて「第八回岡山県精神障害者卓球大会」が開催されました。全エンブリー者が六十名。あすなろ福祉会からは、当日五名の参加となりました。初出場の方も多く、緊張からか午前の交流の部（団体戦）では、二戦二敗と勝利を掴むことはできませんでした。しかし、「大きな大会に参加できて良かった」「大会に出るといろんな人と卓球が出来て楽しい」といった感想がありました。

一方、午後からは、競技の部（個人戦）が始まり、皆の緊張もほぐれてきて、本来の自分らしい卓球ができ始めました。競技の部では、ベスト一六やベスト四に入る方や優勝者とあたつてしまい健闘するも惜しくも勝利を掴むことが出来なかつた方がいました。中でも初出場にして三位入賞した方は表彰とメダルを授与されました。

今回、良い結果を残せた方、望むような結果が出せなかつた方も、一様に今後の課題と目標が出来たということが、来年に向け練習に励みたいとの想いを胸に会場を後にしました。

あすなろ福祉会では、卓球サークルを毎月二回、練習場を毎週火曜と第一第四土曜日に開放しています。メンバーも随時募集中です。お問い合わせは、ぱる・おかやま（086-201-1720）担当：岡田まで。

お問い合わせ MOMO
086-201-1718
担当：河村



一月三〇日（月）MOMOメンバー七名で牛窓へ行きました。天気予報では降水確率五十パーセントでしたが、当日は、快晴☆暑いくらいのお天氣でした。牛窓をドライブし、海の前のレストランで食事をしました。その後は、オリーブ園に登り、アイスを食べたり、幸福の鐘を鳴らしたりしました。幸福の鐘は特に皆さん張り切つて鳴らしていたように思います。（笑）

オリーブ園を後にして、牛窓観光ボーラーの方に牛窓観光案内もして頂き、楽しいひと時を過ごしたように思います。

一〇月三一日～一月一日の二日間、香川県高松市でKHIJ全国大会が行われました。KHIJの略称は、平成二六年度から、Kanzoku-Hikikomori Japanに改訂され「世界で唯一の全国組織の家族会」という意味です。

一日目は「未来に希望を持てるひき」もり支援」と題して基調講演や基調報告、シンポジウムが行われました。中でも印象に残ったのは当事者団体node代表 宮武氏の話でした。全国各地に飛び回つて講演を行い、ネットワークを広げる活動や実際にSNSなどのインターネットを利用して、世代を限定した飲み会や集まりを開催している報告を聞いて、その実行力を見習おうと思いました。

二日目は分科会とひき「もり大学が行いました。当事者支援（居場所と中間的就労支援の取り組み）の内容では、インターネットを利用して遠く離れた当事者同士で一つの就労場所を作り上げた大阪の若者たちの話が興味深かったです。

ひき「もり大学では、当事者が講師となつて講義を行い、グループワークを行いました。当事者の気持ちを直接聞くことができ、まだまだどの地域も本人たちの居場所がない事も知ることが出来ました。

今回の全国大会で改めて考えたことは、人生の主役は本人だということ、また、あすてっぷもいろいろな事に挑戦したり、未来に希望が持てるような支援を今後も続けていくことが必要だと感じました。

第十回 KHIJ全国大会in香川

MOMOレクリエーション
—N牛窓♪

「なでし」の「なでし」・「メンタルボランティア」や「心のボランティア」から見学

し」会さんから、実際に見に行こうとの声が上がりました。「なでしこ会」の家族の方、メンタルボランティアさんらの会の方、職員の方と総勢十八名の方が来所されました。まる・おかやまのサロンスペースで改めてあすなろ福祉会の事業や目指すもののお話をさせていただき、「なでしこ会」の方から「あすなろ家族の会の交流会等でどんな意見が上がっていますか?」「計画相談てどんなサービス?」等々質問があがりました。

またジョブサポートセンターあすなろ等を見学して頂き、就労移行支援事業で目指している」とや実際に利用されている方からもお話を頂きました。

取り組めたのではないかと思います。
選手の皆さん、マネージャー、応援に
来て下さったアスナローズサポーターの
皆さん、ありがとうございました。今
シーズンの大会は今回で終わります
が、来年の大会に向け、早くも一一月
から百間川グラウンドにて一三時から
練習にゆつたりと励んでいます。選手・
マネージャー募集しております！ ちょ
つと体を動かしたい方も気軽に立ち寄

結果 アスナロースは三勝三敗一分
けりーグ順位は六位という悔しい結果に終わってしまいましたが、楽しく、チーム皆が協力しながら試合、応援に

(金)の一田に分かれ奥グランで開催されました。今回の大会は計七チームの総当たり戦の大会方式でした。天候は二日日間とも恵まれ、秋空の下、気持ちよくプレーに臨む」とが出来ました。

一月十七

秋季もも太郎杯

――月『癒し場』開催しました♪

～発達障害や対人関係が苦手の人の癒し場～



から百間川グラウンドにて一三時から練習にゆつたりと励んでいます。選手・マネージャー募集しております! ひとつ体を動かしたい方も気軽に立ち寄つてみてください。

万円あつたら買いたい物』の四つでした。知りたい事や興味のあることなどが話題にあがり、参加者の方にも、とても参考になつたと思います。これからも、もつといろんな興味のある話題が出てきて欲しいですね。

また今月から参加者の方に「この場に限らず、他人に配慮して欲しい事」を教えて頂くようにしました。『勘違いが多いので、勘違いしたら許して欲しい』『腰痛が酷いので、知つていて欲しい』『その時、その時の状況に応じて話せてたら助ける』『物事を否定しないで欲しい、否定があると戸惑つてしまふ』『霧雨気を察

皆さんから出して頂き、話し合ったテーマは、『〇〇したら生きていたい、〇〇したら生きていく（体験談含む）』『ジョブサポートセンターあすなるをはじめ、あすなる福祉社会のやつている事を知りたい、各利用者の利用した感想を聞いてみたい』『買ったい物が沢山あって選べない、ついつい無駄遣いしてしまう』『1

みんなそれぞれ、配慮してもらいたい事があつて、それをみんなで共有する事で、御互いに配慮し合いながらかかわつていけたら良いですね。今回はテーマを出すのではなく、御自身の近況を話して頂く参加者もいらっしゃいます。そんな参加スタイルも全然大丈夫なので、参加をためらっている方や内容がよくわからない方たも、まずは見学参加から試して頂けたらと思います。

次回予定◆◆…◆◆◆

2月15日(木)13時～

くの方の御参加を心からお待ちしています。見学・途中加入も歓迎です！

他の参加者を批判したり善を強要しない事を第一ルールにしています。

今後も交流・見学といった機会を多く設けて行けたらと思います。ぜひくばらんに意見交換しながらあすなる福祉会はもちろんなの」と、よりよい地域づくりでできたらと思います。

最後に「なでしこの会」さん、今回は遠い所までさんでお越しいただきありがとうございました。また機会があればあすなる福祉会からも見学・交流に行かせて頂きたいと思います。



た。そんな参加スタイルも全然大丈夫なので、参加をためらっている方や内容がよくわからないかたも、まずは見学参加から試して頂けたらと思います。

◆次回予定◆◆…◆◆
12月15日(木)13時～
多くの方の御参加を心から
待ちしています。見学・途中
参加も歓迎です！
＊他の参加者を批判した
改善を強要しない事を第
のルールにしています。

INFORMATION

12月の予定

12月		
8	火	芸術活動
9	水	
10	木	女子会 14時
11	金	図書館サークル 10時 手話サロン 11時 ソフトボール 13時 忘年会実行委員会 15時
12	土	鉄ちゃんサークル 13時30分
13	日	
14	月	
15	火	PC講座 10時 癒し場 13時
16	水	
17	木	
18	金	あすなろ忘年会のため、あすなろ閉所
19	土	お抹茶サークル 14時 眼鏡っこ 13時30分
20	日	
21	月	
22	火	PC講座 10時 卓球サークル 13時あすなろ出発 13時30分現地集合 お菓子づくりサークル 13時
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	手芸サークル 13時30分
26	土	ぱる大掃除
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	12月27日(日)～1月4日(月)まで 年末年始のお休み
1	金	元旦
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	ぱる開所

※プログラム・サークル活動に参加するには、すべて前日までに連絡が必要になります。参加者が多い場合には前日より早く締切らせていただくこともあります。

早めにご連絡ください！！

※日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行:社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒700-0822 岡山市北区表町3-7-27
- 編集:ぱる・おかやま
- TEL:086-201-1720 FAX:086-201-1713
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

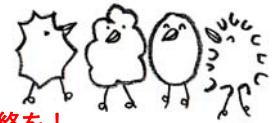
4日・11(金)

●○○ソフトボール○○●

みんなで汗を流そう！！

時間 13時～15時

場所 百間川グラウンド



※送迎希望の方は必ず事前連絡を！

※自転車やバイクでのグランドへの乗り入れはご遠慮ください。

めがね 眼鏡っこ Art of Asunaro

漫画・小説・絵・詩などを書くこと
読むのが好きな人の集い★

自分が書いたり、描いたりしたものを誰かに見てもらいたい人や、見たり読んだりするのが好きだから作品を是非見たいという人集まれ♪ 今回はプチパーティを予定!
もちろん眼鏡なくてもOK！

時間 13時30分～

場所 ジョブサポートセンターあすなろ

15日(火) ◆ 癒し場 ◆

発達障害・人間関係で悩んでいる人のいやし場

自分を受け入れてくれる誰かを探していませんか？

時間 13時～

場所 ジョブサポートセンターあすなろ

10日(木) おしゃべり大好き女子集まれ！ 女子会♪

毎月1回、楽しい雰囲気の中、テーマを決めて女子トークに花を咲かせています。

時間 14時～15時半

場所 ぱる・おかやま 2階

<12月のピア電話相談日>

	火	水	木	金	土
	8	9	10	11	12
AM	○	休	○	○	休
PM	○	休	○	○	○
	15	16	17	18	19
AM	○	休	休	休	休
PM	○	休	休	休	休
	22	23	24	25	26
AM	○	休	○	休	休
PM	○	休	休	休	休
	29	30	31	1	2
AM	休	休	休	休	休
PM	休	休	休	休	休

ピア電話相談とは
同じような病気の
経験をした
ピーター
グループクローバー
が、お電話であなたの
お悩みをお聞きしてい
ます。

ピア
電話相談
(086)
201-1719

お気軽におかけ下さい！

